

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 23 年 4 月 21 日 (2011.4.21)

【公表番号】特表 2010-521974 (P2010-521974A)  
 【公表日】平成 22 年 7 月 1 日 (2010.7.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-026  
 【出願番号】特願 2009-554764 (P2009-554764)  
 【国際特許分類】

A 2 3 L 1/22 (2006.01)

A 2 3 L 1/304 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/22 D

A 2 3 L 1/304

【手続補正書】  
 【提出日】平成 23 年 3 月 2 日 (2011.3.2)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ナトリウム不含または低ナトリウム調味料組成物であって、アスコルビン酸；クエン酸、酒石酸、フマル酸、乳酸およびそれらの混合物からなる群から選択される少なくともひとつの酸味料；カリウム塩；カルシウム塩；マグネシウム塩；および米粉を含んでなる前記調味料組成物。

【請求項 2】

家庭または食品加工業において一般的な塩の代用品として適応している、請求項 1 に記載の調味料組成物。

【請求項 3】

カリウム塩が、クエン酸カリウムまたは塩化カリウムであり、15 から 65 重量%の間で存在し；酸味料が、酒石酸、クエン酸およびフマル酸からなる群から選択され、5 から 40 重量%の間で存在し；マグネシウム塩が、硫酸マグネシウムであり、10 から 30 重量%の間で存在し；カルシウム塩が、塩化カルシウムまたはリン酸カルシウムであり、2 から 15 重量%の間で存在し；米粉が、2 から 40 重量%の間で存在する、請求項 1 に記載の調味料組成物。

【請求項 4】

前記組成物が、調理前、調理中、調理後に使用可能な食材の調味料として適応される混合物を含んでなる、請求項 1 に記載の調味料組成物。

【請求項 5】

15 から 50 重量%の間の塩化ナトリウムを含有する、請求項 1 に記載の調味料組成物。

【請求項 6】

重量で 30 , 000 あたり 1 部以上の量のヨウ素を含有する、請求項 1 に記載の調味料組成物。

【請求項 7】

0.5 から 8.5 重量%の、ニンニク粉末、コショウ粉末、タマネギ粉末、セロリ粉末、スウィートバジル、タイム粉末、脱水バセリ、スィートレッドペッパー粉末およびスバ

イシーレッドペッパーおよびそれらの混合物からなる群から選択される矯味剤・香味材をさらに含んでなる、請求項 1 に記載の調味料組成物。

【請求項 8】

0.5 から 5 重量 % の間で存在する、リン酸カルシウムおよびケイ酸カルシウムを含む、ヒト消費に適合している安定化剤をさらに含んでなる、請求項 1 に記載の調味料組成物。

【請求項 9】

塩シェーカー中での家庭使用に適応している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

マグネシウム、カリウムおよびカルシウムの栄養補助食品として使用するのに適応している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

重量での割合：塩化カリウム 33 %、酒石酸 20 %、およびアスコルビン酸 2 %、硫酸マグネシウム 16 %、米粉 25 % およびリン酸カルシウム 4 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

重量での割合：塩化カリウム 36 %、酒石酸 30 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

重量での割合：塩化カリウム 62 % 酒石酸 10 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

重量での割合：塩化カリウム 25 %、クエン酸 25 %、塩化カルシウム 10 %、米粉 10 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 15】

重量での割合塩化カリウム 25 %、酒石酸 25 %、塩化ナトリウム 15 %、米粉 16 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 16】

重量での割合：塩化カリウム 35 %、酒石酸 28 %、塩化ナトリウム 10 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 17】

食品に塩味をつける方法であって、ヒト消費用の食品に、有効量のナトリウム不含または低ナトリウム調味料組成物を加えることを含み、ナトリウム不含または低ナトリウム調味料組成物は、アスコルビン酸；クエン酸、酒石酸、フマル酸、乳酸およびそれらの混合物からなる群から選択される少なくともひとつの酸味料；カリウム塩；カルシウム塩；マグネシウム塩；および米粉を含んでなる、前記方法。

【請求項 18】

カリウム塩が、クエン酸カリウムまたは塩化カリウムであり、15 から 65 重量 % の間で存在し；酸味料が、酒石酸、乳酸、クエン酸およびフマル酸からなる群から選択され、5 から 40 重量 % の間で存在し；マグネシウム塩が、硫酸マグネシウムであり、10 から 30 重量 % の間で存在し；カルシウム塩が、塩化カルシウムまたはリン酸カルシウムであり、2 から 15 重量 % の間で存在し；米粉が 2 から 40 重量 % の間で存在する、請求項 17 に記載の方法。